

平成30年度

第26回

入間地区スポーツ推進委員研究大会

期日：平成31年1月26日(土)

**会場：ふじみ野市立スポーツセンター
総合体育館及び武道館**



**ふじみ野市PR大使
「ふじみん」**

主催：入間地区スポーツ推進委員連絡協議会

後援：埼玉県・ふじみ野市

協力：ふじみ野市スポーツ推進委員協議会

第 26 回 入間地区スポーツ推進委員研究大会

開会式次第

(10:00～10:10)

ふじみ野市立スポーツセンター総合体育館アリーナ

(ふじみんアリーナおりひめ)

- | | | |
|-----------|---|----------------------------------|
| 1 開会の言葉 | 入間地区スポーツ推進委員連絡協議会副会長 | 宮寺 敏雄 |
| 2 主催者あいさつ | 入間地区スポーツ推進委員連絡協議会会長 | 西内 利夫 |
| 3 来賓あいさつ | 埼玉県県民生活部スポーツ振興課 課長
ふじみ野市市長
比企地区スポーツ推進委員会会長 | 依田 英樹
高畑 博
阿部 洋行 |
| 4 来賓紹介 | 入間地区社会体育連絡協議会会長 | 吉村 敏世 |
| 5 主催者紹介 | 入間地区スポーツ推進委員連絡協議会会長
入間地区スポーツ推進委員連絡協議会副会長
入間地区スポーツ推進委員連絡協議会副会長
ふじみ野市スポーツ推進委員連絡協議会会長 | 西内 利夫
宮寺 敏雄
山岡 達生
新保 寿美 |

閉会式次第

(14:30～)

ふじみ野市立スポーツセンター総合体育館アリーナ

(ふじみんアリーナおりひめ)

- | | | |
|---------|----------------------|-------|
| 1 謝 辞 | 入間地区スポーツ推進委員連絡協議会会長 | 西内 利夫 |
| 2 閉会の言葉 | 入間地区スポーツ推進委員連絡協議会副会長 | 山岡 達生 |

平成 30 年度 第 26 回入間地区スポーツ推進委員研究大会 開催要項

- 1 趣 旨 入間地区のスポーツ推進委員が共に集い、研修し、且つ各々の地区において地域住民を対象に実施しているスポーツ活動の紹介や情報提供を通して、相互の資質向上を図る。

- 2 内 容 講演：テーマ「スポーツによるノーマライゼーション」

講師：工藤 陽介氏

実技：「誰もが楽しめる！ レクリエーション・ポッチャの世界」

講師：工藤 陽介氏

ふじみ野市スポーツ推進委員

- 3 主 催 入間地区スポーツ推進委員連絡協議会

- 4 後 援 埼玉県、ふじみ野市

- 5 日 時 平成 31 年 1 月 26 日（土） 9 時 30 分～14 時 45 分

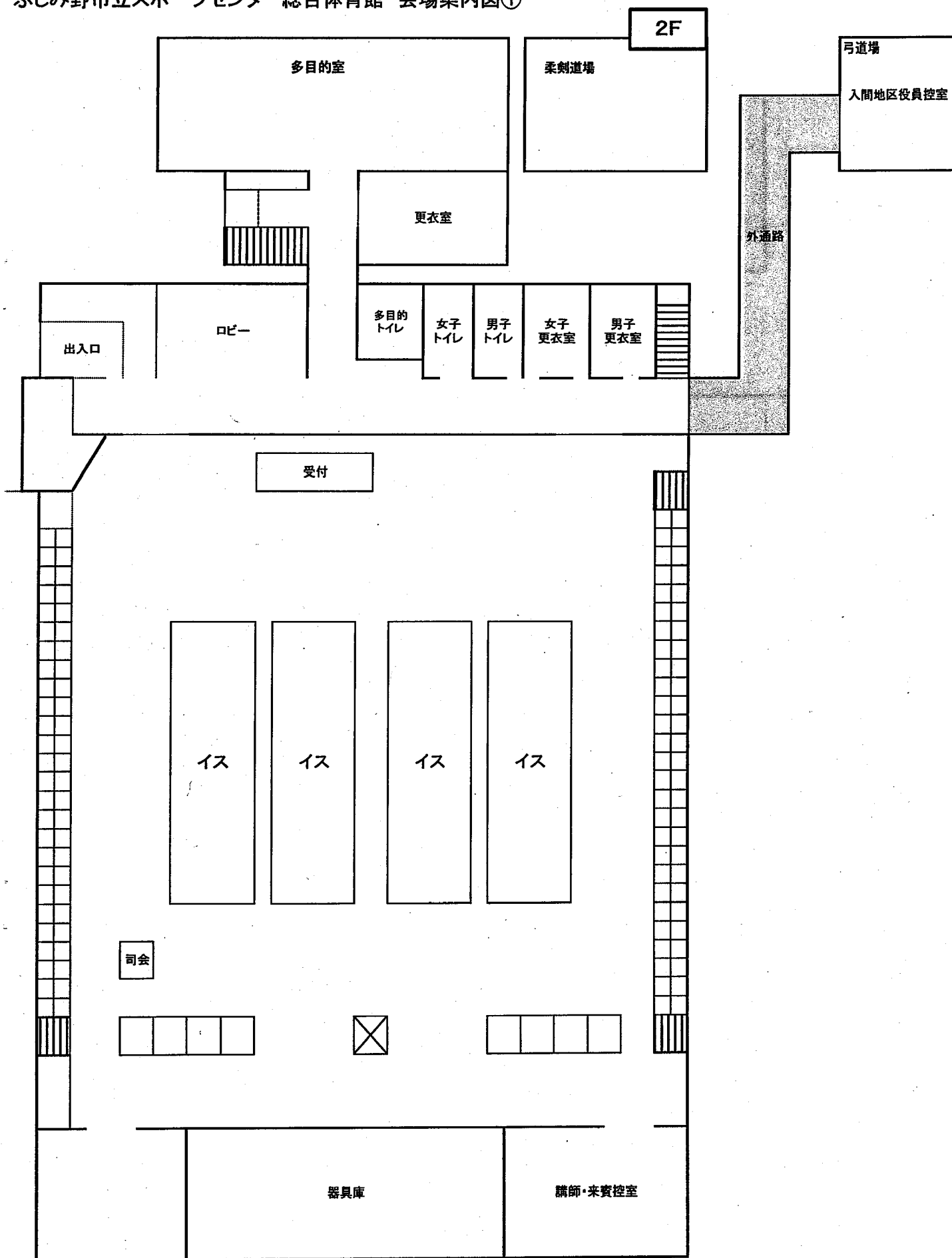
- 6 会 場 ふじみ野市立スポーツセンター総合体育館及び多目的室、柔剣道場

- 7 参加者 入間地区スポーツ推進委員・入間地区社会体育担当行政職員

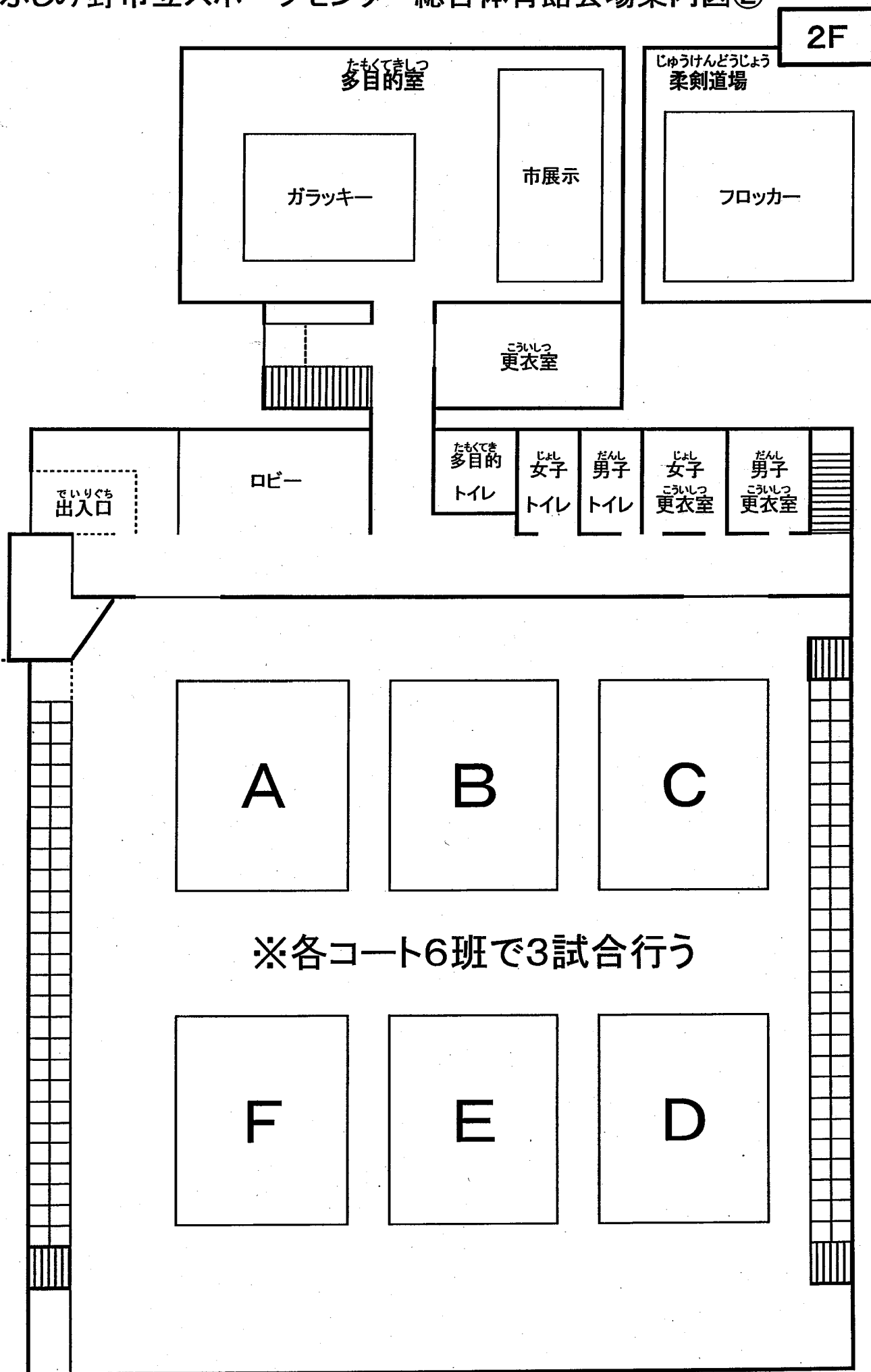
川越市(40名) 所沢市(36名) 飯能市(17名) 狭山市(14名) 入間市(18名) 富士見市(10名) 坂戸市(8名) 鶴ヶ島市(8名) 日高市(8名) 毛呂山町(6名) 越生町(3名) 三芳町(8名) ふじみ野市(27名) 西部教育事務所比企地区スポーツ推進委員(各市町村2名)

- | | |
|------------|---|
| 8 日 程 受 付 | 9:30～ 9:50 |
| 会 場 | 9:50～10:00 |
| 開会式 | 10:00～10:10 |
| 講 演 | 10:10～11:40 |
| 昼 食 | 11:40～12:40総合体育館各市町ブースにて |
| デモンストレーション | 12:40～13:00 |
| 実 技 | 13:00～14:30
(1F 多目的室・2F 柔剣道場にて軽スポーツ紹介) |
| 閉会式 | 14:30～14:45 |

ふじみ野市立スポーツセンター総合体育館 会場案内図①



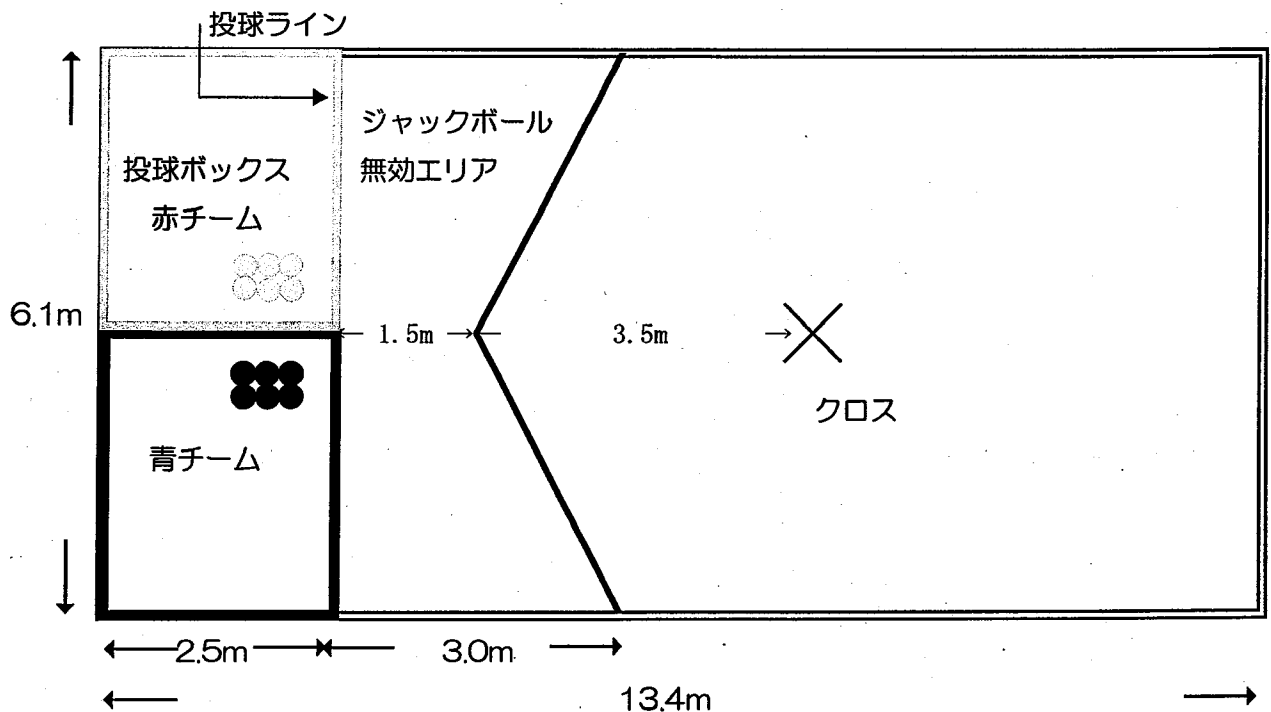
ふじみ野市立スポーツセンター総合体育館会場案内図②



～ レクリエーション・ボッチャ ～

【用具】 ジャックボール(白) 1・ボール(赤) 6・(青) 6、指示板、メジャー、コンパス、スコアボード

【コート】 作り方…コートはバドミントンコート(13.4×6.1)で対応し、投球ライン・ボックスライン・Vライン・クロスを入れ使用



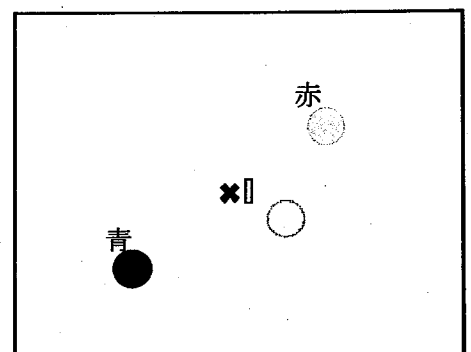
- 【審判員】 ●ジャックボール・カラーボールを投げる指示を出す。(投球するチームの色を指示板で知らせる)
 ●試合中・得点時のカラーボールの距離を測り、得点係に得点を伝える。
 ●ボールがラインに触れていたりコート外に出ているか見る。

【試合形式】 チーム戦 …1 試合 25 分(4 エンド～)、ボールは各チーム 6 個づつ
 (1 チームの人数は参加者数により変更可)

【試合方法】

1. 先攻後攻をジャンケンで決める(先攻が赤、後攻が青)
2. 先攻チームがジャックボールを投げる。
(2 ゲーム目は後攻チームが投げる)
※ジャックボールが無効エリアに止まったりコート外に出たら、相手チームが投球する。
3. ジャックボールを投げた人が 1 投目の赤ボールを投げる。
※コート外に出た時は、エリア内に入るまで投げる。
4. 青チームが投げる。
※コート外に出た時は、エリア内に入るまで投げる。
5. 次の投球は、ジャックボールから遠いチームが投げる。
(例) 図-1 の様にジャックボールに近いボールが赤なので次は青チームが投げる。
6. 5 を繰り返し、両チーム全てのボールを投げ終える。

〈図-1〉



【捕捉】 ●投球する際、投球ラインを踏んだり越えてはいけない。

●ボールの接地面がライン上にある時はアウト。

●ジャックボールに近い両チームのボールが同距離〈図-4〉の場合は、最後に投球したチームが投球する。

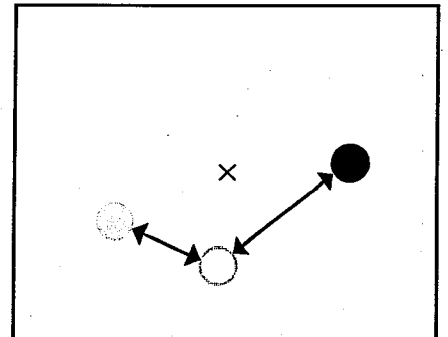
●ジャックボールや他のボールに当たってもそのまま続ける。

●投球中ジャックボールがラインに触れたりコート外に出た時は、クロス位置に戻る。

(クロス上に他のボールがある時は、出来る限りクロスに近いクロスの前面(投球側)に置く)

(ジャックボールをクロス位置に戻した時、有効エリア内にカラーボールが1つもない場合、ジャックボールをエリア外に出したチームが投球する)

〈図-2〉



【ボールの距離の測定方法】

ジャックボールを中心にメジャーやコンパスを使用して、ジャックボールの側面からボールの側面を測る。〈図-2〉

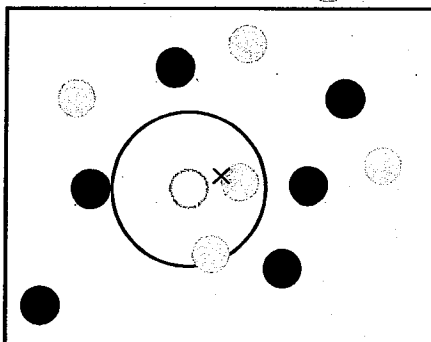
【得点】 ジャックボールに遠いチームのボールで、ジャックボールに近いボールとジャックボールの中心を結んだ線を半径とし円を描き、その円の中に相手チームのボールがある数が得点になる。〈図-3〉

● 〈図-3〉 最もジャックボールに近いボールのチームに得点が入る…1個 1点で赤が得点 2

● 〈図-4〉 の様に同距離の時は、両チームに得点が入る…1 : 1

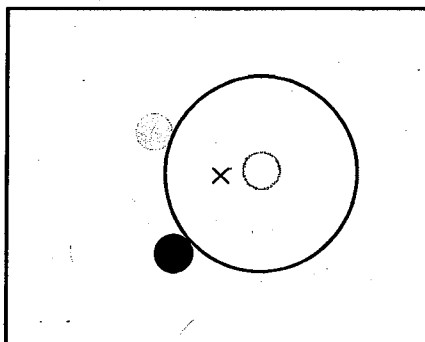
● 〈図-5〉 図-4 の様に同距離のボールがあってもジャックボールに近いボールがある時は、近いボールのみ得点になる…青が得点 1

〈図-3〉



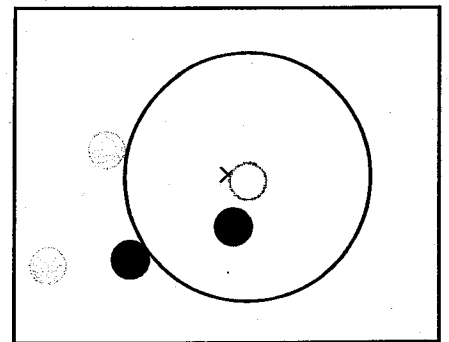
赤 ● 2 : 0 青 ●

〈図-4〉



赤 ● 1 : 1 青 ●

〈図-5〉



赤 ● 0 : 1 青 ●

試合順

○第1試合 チーム1 : チーム2 (審判員 チーム3・チーム4) チーム5・チーム6は軽スポーツ

○第2試合 チーム3 : チーム4 (審判員 チーム5・チーム6) チーム1・チーム2は軽スポーツ

○第3試合 チーム5 : チーム6 (審判員 チーム1・チーム2) チーム3・チーム4は軽スポーツ

※審判員のチームは、コート責任者の指示に従い順番に片方のチーム審判1名もう片方のチーム得点係1名で、各エンド交替をお願いします。(審判=R、得点係=Sを参加者名簿に記載)

※軽スポーツのチームは、ポッチャ見学・休憩及び軽スポーツを楽しんでください。

(1F 多目的室=フロッカー・2F 柔剣道場=ガラッキー)

注意事項…コートを離れた方は、自試合の5分前には試合コート脇に待機をお願いします。

※チームに記載されているアルファベットがコート の 場所、数字はチームの番号です。

チーム横の R=審判、S=得点係、記=役員役割分担の記録係です。

NO	市町名	氏 名	チ-ム		NO	市町名	氏 名	チ-ム	
1	川越市	山田 上	A-1	R	38	所沢市	宇野 みどり	B-1	R
2	川越市	柏櫓 信恵	B-1	S	39	所沢市	矢嶋 重治	C-1	S
3	川越市	石堂 悦子	C-1	R	40	所沢市	金子 太司	D-1	R
4	川越市	猪口 幸隆	D-1	S	41	所沢市	新井 隆一	E-1	S
5	川越市	大石 悦子	E-1	R	42	所沢市	島崎 敏男	F-1	R
6	川越市	植原 三枝子	F-1	S	43	所沢市	砂川 剛	A-3	S
7	川越市	將基 孝昭	A-3	R	44	所沢市	須藤 貢	B-3	R
8	川越市	室賀 美澄	B-3	S	45	所沢市	渋谷 治男	C-3	S
9	川越市	佐藤 光重	C-3	R	46	所沢市	右近 良子	D-3	R
10	川越市	澤田 美由樹	D-3	S	47	所沢市	鈴木 公一	E-3	S
11	川越市	山内 章一	E-3	R	48	所沢市	安達 裕子	F-3	R
12	川越市	渡辺 信之	F-3	S	49	所沢市	加藤 貴志	A-5	S
13	川越市	加藤 勝己	A-5	R	50	所沢市	大館 昭彦	B-5	R
14	川越市	久高 健	B-5	S	51	所沢市	大館 芳美	C-5	S
15	川越市	小沢 創	C-5	R	52	所沢市	糟屋 恵美子	D-5	R
16	川越市	神林 邦子	D-5	S	53	所沢市	吉原 栄	E-5	S
17	川越市	山本 淳夫	E-5	R	54	所沢市	宮崎 泰夫	F-5	R
18	川越市	松岡 和雄	F-5	S	55	所沢市	森田 哲夫	A-2	R
19	川越市	鈴木 健二郎	A-2	S	56	所沢市	井上 知	B-2	S
20	川越市	市ノ川 恵	B-2	R	57	所沢市	小尾 健一	C-2	R
21	川越市	原田 義雄	C-2	S	58	飯能市	福島 正己	D-2	S
22	川越市	大石 和彦	D-2	R	59	飯能市	伊興部 宏恵	E-2	記
23	川越市	近藤 功	E-2	S	60	飯能市	田橋 ふじみ	F-2	S
24	川越市	石黒 健一	F-2	R	61	飯能市	井上 隆司	A-4	R
25	所沢市	宮寺 敏雄	A-4	S	62	飯能市	竹田 公安	B-4	S
26	所沢市	柏崎 年己	B-4	R	63	飯能市	石森 勝	C-4	R
27	所沢市	中村 勝子	C-4	S	64	飯能市	平澤 由枝	D-4	S
28	所沢市	戸口田 昭則	D-4	R	65	飯能市	加藤 浩子	E-4	記
29	所沢市	西矢 和夫	E-4	S	66	飯能市	若山 一	F-4	S
30	所沢市	小澤 浩明	F-4	R	67	飯能市	小嶋 正晴	A-6	R
31	所沢市	寺内 武志	A-6	S	68	飯能市	大久保 利昭	B-6	S
32	所沢市	浅田 伸二	B-6	R	69	飯能市	野田 恵美子	C-6	R
33	所沢市	中島 昇	C-6	S	70	飯能市	田島 明美	D-6	S
34	所沢市	田澤 栄二	D-6	R	71	飯能市	石田 智昭	E-6	R
35	所沢市	鈴木 義明	E-6	S	72	飯能市	鹿戸 明裕	F-6	S
36	所沢市	斉藤 幸雄	F-6	R	73	狭山市	新井 勝	A-1	R
37	所沢市	市川 由紀子	A-1	S	74	狭山市	星 恒夫	B-1	S

NO	市町名	氏 名	チー△		NO	市町名	氏 名	チー△	
75	狭山市	小澤 小夜子	C-1	R	115	坂戸市	萩原 弘樹	A-3	S
76	狭山市	林 徹志	D-1	S	116	坂戸市	中川 智香	B-3	R
77	狭山市	伊藤 章夫	E-1	R	117	坂戸市	名取 恵美子	C-3	S
78	狭山市	篠塚 功	F-1	S	118	坂戸市	福田 邦佳	D-3	R
79	狭山市	大塚 道男	A-3	R	119	坂戸市	橋本 雅功	E-3	S
80	狭山市	藤澤 洋子	B-3	S	120	坂戸市	井山 香代子	F-3	R
81	狭山市	残間 壽満	C-3	R	121	坂戸市	大友 篤	A-5	S
82	狭山市	河井 一敏	D-3	S	122	鶴ヶ島市	山岡 達生	B-5	R
83	狭山市	佐藤 正	E-3	R	123	鶴ヶ島市	北田 豊	C-5	S
84	狭山市	川原 啓志	F-3	S	124	鶴ヶ島市	島村 美恵子	D-5	R
85	狭山市	中間 昌博	A-5	R	125	鶴ヶ島市	三上 光江	E-5	S
86	入間市	中平 貴美子	B-5	S	126	鶴ヶ島市	四條 憲夫	F-5	R
87	入間市	野口 貴晴	C-5	R	127	鶴ヶ島市	丹羽 美好	A-2	R
88	入間市	吉田 正	D-5	S	128	鶴ヶ島市	田辺 あき子	B-2	S
89	入間市	清水 章子	E-5	R	129	鶴ヶ島市	菅原 友子	C-2	R
90	入間市	稲垣 勝利	F-5	S	130	鶴ヶ島市	橋本 武	D-2	S
91	入間市	押木 正己	A-2	S	131	鶴ヶ島市	大澤 瑞典	E-2	S
92	入間市	高野 亨	B-2	R	132	鶴ヶ島市	佐野 ともこ	F-2	S
93	入間市	川島 英昭	C-2	S	133	日高市	松田 一彦	A-4	R
94	入間市	森谷 誠	D-2	R	134	日高市	小川 千冬	B-4	S
95	入間市	岩井 保	E-2	R	135	日高市	加藤 邦宏	C-4	R
96	入間市	中林 誠一	F-2	R	136	日高市	新堀 幸子	D-4	S
97	入間市	橋本 雄子	A-4	S	137	日高市	倉本 はるみ	E-4	S
98	入間市	星野 幸子	B-4	R	138	日高市	犬竹 拓人	F-4	S
99	入間市	内田 俊一	C-4	S	139	日高市	藤田 匠吾	A-6	R
100	入間市	榎本 倫子	D-4	R	140	日高市	田川 優子	B-6	S
101	入間市	猪口 裕太	E-4	R	141	日高市	吉田 瞳	C-6	R
102	入間市	戸坂 次郎	F-4	R	142	日高市	金指 恵理子	D-6	S
103	富士見市	田中 悦子	A-6	S	143	三芳町	西内 利夫	E-6	R
104	富士見市	緑川 千明	B-6	R	144	三芳町	高橋 すみ子	F-6	S
105	富士見市	河村 明彦	C-6	S	145	三芳町	室山 陽子	A-1	R
106	富士見市	長堀 進	D-6	R	146	三芳町	矢島 敦	B-1	S
107	富士見市	寺沢 靖	E-6	S	147	三芳町	松本 富美子	C-1	R
108	富士見市	八島 博道	F-6	R	148	三芳町	平野 博和	D-1	S
109	富士見市	小野寺 泰久	A-1	S	149	三芳町	佐々木 正廣	E-1	R
110	富士見市	星野 克幸	B-1	R	150	毛呂山町	弓田 貴之	F-1	S
111	富士見市	鈴木 榮	C-1	S	151	毛呂山町	佐々木 ひろ子	A-3	R
112	富士見市	大作 忍	D-1	R	152	毛呂山町	山崎 浩生	B-3	S
113	富士見市	大串 義治	E-1	S	153	越生町	岩鼻 昭夫	C-3	R
114	坂戸市	金丸 行男	F-1	R	154	越生町	宮崎 貴美江	D-3	S

NO	市町名	氏 名	チ-ム		NO	市町名	氏 名	チ-ム	
155	越生町	石井 博	E-3	R	174	ふじみ野市	新保 寿美		
156	越生町	福嶋 清一	F-3	S	175	ふじみ野市	今吉 こずえ		
157	越生町	小林 真理子	A-5	R	176	ふじみ野市	田中 キヨ		
158	嵐山町	永島 純子	B-5	S	177	ふじみ野市	大野 正代		
159	東松山市	梅澤 行子	C-5	R	178	ふじみ野市	菊島 梅子		
160	東松山市	小川 育子	D-5	S	179	ふじみ野市	後藤 祐蔵		
161	鳩山町	平田 景子	E-5	R	180	ふじみ野市	鈴木 正子		
162	鳩山町	小久保 光男	F-5	S	181	ふじみ野市	高橋 奈津子		
163	川島町	阿部 洋行	A-2	S	182	ふじみ野市	竹林 康彦		
164	川島町	野口 正東	B-2	R	183	ふじみ野市	土屋 俊隆		
165	川島町	清治 里臣	C-2	S	184	ふじみ野市	宮崎 裕		
166	ふじみ野市	増淵 政雄			185	ふじみ野市	湯浅 一臣		
167	ふじみ野市	大熊 重敏			186	ふじみ野市	中里 さゆり		
168	ふじみ野市	七海 芳美			187	ふじみ野市	菅澤 和与		
169	ふじみ野市	松本 健治			188	ふじみ野市	市川 弥生		
170	ふじみ野市	沼田 光広			189	ふじみ野市	小平 真也		
171	ふじみ野市	山崎 さつき			190	ふじみ野市	深野 健一		
172	ふじみ野市	鎌田 康男			191	ふじみ野市	高木 勝彦		
173	ふじみ野市	村上 幸一			192	ふじみ野市	佐藤 善行		

(敬称略)

スポーツ推進委員研究大会

障害者スポーツについて

・講義
・実技(ボッチャ)

平成31年1月26日

工藤陽介

障害者がスポーツをする目的

- 治療・リハビリ
- 余暇活動
- 健康・ダイエット
- 気分転換
- レジャー・趣味
- 友達を作りたい
- 競い合いたい・上達したい・強くなりたい・勝ちたい
- 仕事として(プロ)

障害者スポーツとは？

障害者スポーツとは、障害者のために特別に考案されたスポーツだけを指すものではなく、原則として健常者が行なっているスポーツを、

- 障害があるためにできないことがある。
- 障害があるためにスポーツによる事故の心配がある。
- 障害を増悪化させるおそれがある。
- 競技規則が複雑なため理解しにくい。

などの理由でルールを一部変更して行なっているものを指しています。

例えば・・・

<車椅子テニス>

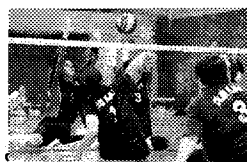
サイドステップやスタートダッシュが車椅子だと難しいので、2バウンドでの返球が認められています。

しかし、コートของ広さやネットの高さなどは、一般のテニスルールと同じです。



<シッティングバレーボール>

立ってバレーボールをすることが困難な人が行うバレーボールなので、コート内の移動やジャンプが困難なので、コートの広さやネットの高さを変更しています。



<視力に障害がある人のスポーツ>

選手の目の役割を果たすガイド(健常者)と共に競技することが認められているものがあります。



障害の種類

○ 身体障害

視覚障害

聴覚障害・・・ろう者

肢体不自由・・・車椅子、切断

脳性麻痺

内部障害

言語障害

○ 知的障害

ダウン症

自閉症

○ 精神障害

○ 発達障害

＜※重要※＞

障害によって
指導方法に工夫が
必要！

障害者スポーツの団体と大会

○ パラリンピック

4年に1度、オリンピック終了後にオリンピック開催都市で行われている「もう一つの(Parallel)+オリンピック(Olympic)」のこと。夏季競技大会と冬季競技大会が開催されている。世界のトップアスリートだけが出場できる国際競技大会である。

○ ジャパンパラ競技大会

競技団体と共催し開催している国内最高峰の競技大会。わが国の競技向上と記録の公認を図ることを目的に開催している。パラリンピックの選手選考を兼ねている。

○ デフリンピック

4年に1度、世界規模で行われる聴覚障害者(ろう者)のための国際総合競技大会。

○ 全国障害者スポーツ大会

2001年から、全国身体障害者スポーツ大会と全国知的障害者スポーツ大会が統合され、国民体育大会の終了後に同じ開催地で行われている。大会の目的は、競技スポーツの追及とは異なり、障害のある人々の社会参加の推進や、国民の障害のある人々に対する理解を深めることにある。

○ スペシャルオリンピックス

知的障害のある人の自立や社会参加を目的として、日常的なスポーツプログラムや、成果の発表の場としての競技会を提供する国際的なスポーツ組織。いつもどこかで活動しているということから、「Olympics」と複数形になっている。

パラリンピックの競技と障害区分

<夏季競技>

○ 陸上競技

車椅子マラソン

視覚障害者

○ 車椅子テニス



○ 柔道

視覚

○ 脳性麻痺者7人制サッカー

○ ウィルチェアーラグビー

○ ゴールボール

視覚障害者



<冬季競技>

○ アルペンスキー



立位・座位・視覚障害

○ アイススレッジホッケー

脊髄損傷・切断

○ 車椅子カーリング

“豆知識”

知的障害者向けの競技が無いことに気づきましたか・・・なぜか???

2000年のシドニーパラリンピックのバスケットボールでスペインチームが健常者を知的障害者と偽って参加させ金メダルを獲得した。その後内部告発でそのことが明るみとなり、以後のパラリンピックから知的障害者の競技が無くなってしまった!

→ ロンドンパラリンピックから一部復活!

<余談> 日本代表のパラリンピックメダル獲得数

夏季

	金	銀	銅	合計	順位
北京	5	14	8	27	17 (146)
ロンドン	5	5	6	16	24 (164)
リオ	0	10	14	24	64 (159)

冬季

トリノ	2	5	2	9	8 (39)
バンクーバー	3	3	5	11	8 (44)
ソチ	3	1	2	6	7 (45)
平昌	3	4	3	10	9 (49)

デフリンピックの競技

○ 夏季

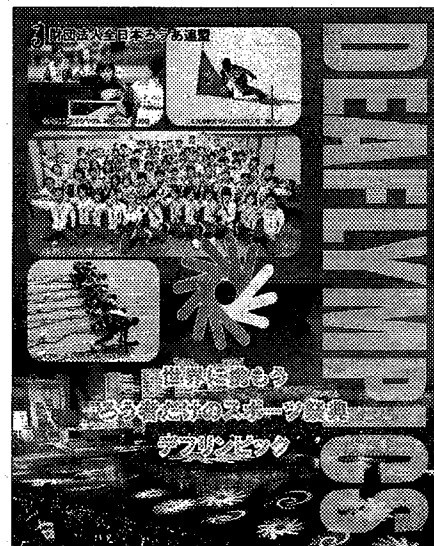
19競技

ビーチバレーボール

テコンドー・自転車

レスリング・マウンテンバイク

オリエンテーリング



○ 冬季

5競技

アルペンスキー・スノーボード

クロスカントリースキー

アイスホッケー・カーリング



全国障害者スポーツ大会の競技と障害区分

○ 陸上競技

スラローム(車椅子)

ビーンバッグ投げ(重度の障害のある車椅子使用者対象)

○ サウンドテーブルテニス(視覚障害者)

○ フライングディスク(知的障害者)

○ ボウリング(知的障害者)

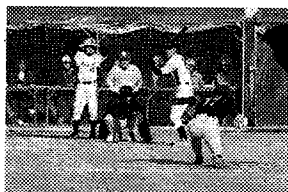
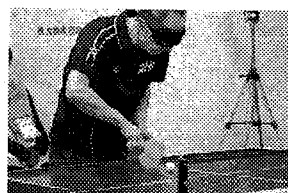
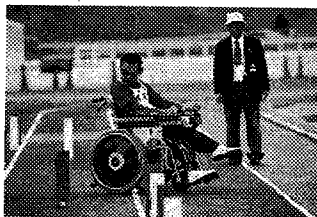
○ グランドソフトボール(視覚障害者)

○ フットベースボール(知的障害者)

○ バレーボール

(視覚障害・知的障害・精神障害)

○ ソフトボール(知的障害者)



知的障害者女子ソフトボールチーム

武蔵野プリティープリンセス

毎週土曜日、さいたま市を中心に活動中！

“日本初”の知的障害のある女性だけのソフトボールチームです！
男子だけのチームと競い合い、県大会での優勝・全国大会の出場
を目標に掲げています。



スペシャルオリンピックスの競技

- バドミントン
- ボッチャ
- ゴルフ
- 体操
- アルペンスキー
- スノーボード
- アイススケート
- フィギュアスケート
- スノーシューイング
- フロアホッケー



アイスホッケーとリングゲッティー(Ringette)という二つのスポーツを組み合わせ、スペシャルオリンピックスがルールを独自に考案して生まれた競技。雪の降らない国やアイスリンクの無い地域でも冬季大会に参加出来るように考案された。

**Special
Olympics**
Nippon



障害者スポーツとボランティア(関わる人)

- 障害者スポーツの指導(コーチ)を仕事としてやれるのはごくわずか
- 多くのボランティアで障害者スポーツの世界は成り立っている
- 障害者スポーツの指導者資格を保有している人も年々増えている(平成30年4月30日現在)

資格	登録者数
障害者スポーツ指導員 初級	14,275名
障害者スポーツ指導員 中級	2,660名
障害者スポーツ指導員 上級	589名
障害者スポーツコーチ	168名

- でも資格を持っていなければボランティアが出来ないわけではありません

ボランティアの種類

- スポーツの指導
- 練習パートナー
- ガイドランナー
- 審判・競技補助員
- マネージャー…会場の手配、出欠の確認
- 大会運営…受付、誘導、駐車場、アナウンス
- イベント…企画、運営、会場準備



パラリンピックムーブメントが目指す、 共生社会について

国際パラリンピック委員会公認教材 “I'MPOSSIBLE”

すべての人にはスポーツに参加する権利があります。
それは障害がある人も同じです。

スポーツを楽しむ上で、障害のためにできないことがあったり危険が伴うと考えられることに対し、発想を転換したりやり方を変えるなどの創意工夫をルールに反映させて参加の可能性を広げているのがパラリンピックスポーツです。

パラリンピックから学ぶ「創意工夫」は、様々な機会が公平に与えられるような共生社会の実現を促進するためのきっかけとして捉えることができるのです。

国際パラリンピック委員会(IPC)は、
パラリンピアンたちに秘められた力こそが、
パラリンピックの象徴であるとし、以下の4つの価値を重視しています。

勇気

Courage

マイナスの感情に向き合い、乗り越えよう
と思う精神力

強い意志

Determination

困難があっても、諦めず限界を突破しようとする力

インスピレーション

Inspiration

人の心を揺さぶり、
駆り立てる力

公平

Equality

多様性を認め、創意工夫をすれば、誰もが同じスタートラインに立てることを
気づかせる力

最後に... お伝えしたいこと

- × 障害のある人は、特別な人・助けられるべき人
- 障害がない人と同じように可能性を持つ人

他の人との違いを受け入れ、個性を尊重しあえる関係を築くことが重要！

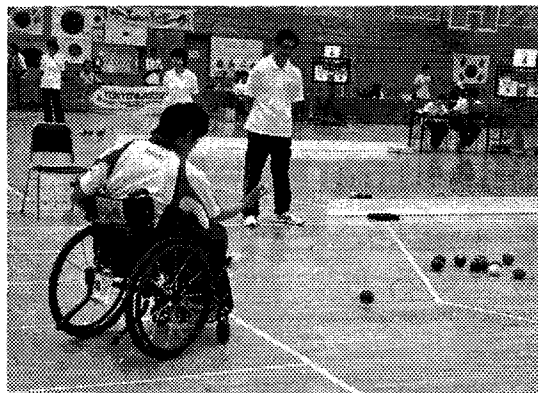
- ・ 共生社会
- ・ インクルージョン
- ・ ノーマライゼーション

実技 -ボッチャー-

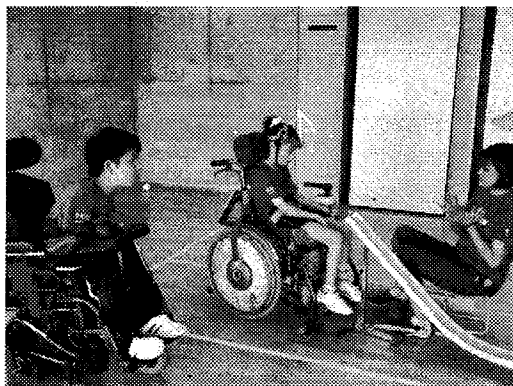
ボッチャは、イタリア語で「ボール」という意味で、重度脳性麻痺者・重度四肢機能障害があるアスリートのために考案された競技。

パラリンピックの正式競技になったのは、1988年からです。

英国のローンボウルズと、フランス共和国のペタンクに近い競技で、戦略と正確性が求められます。テニスボールより少し大きい革製のボールを使用します。オリンピックに該当する競技はなく、パラリンピック特有の競技です。



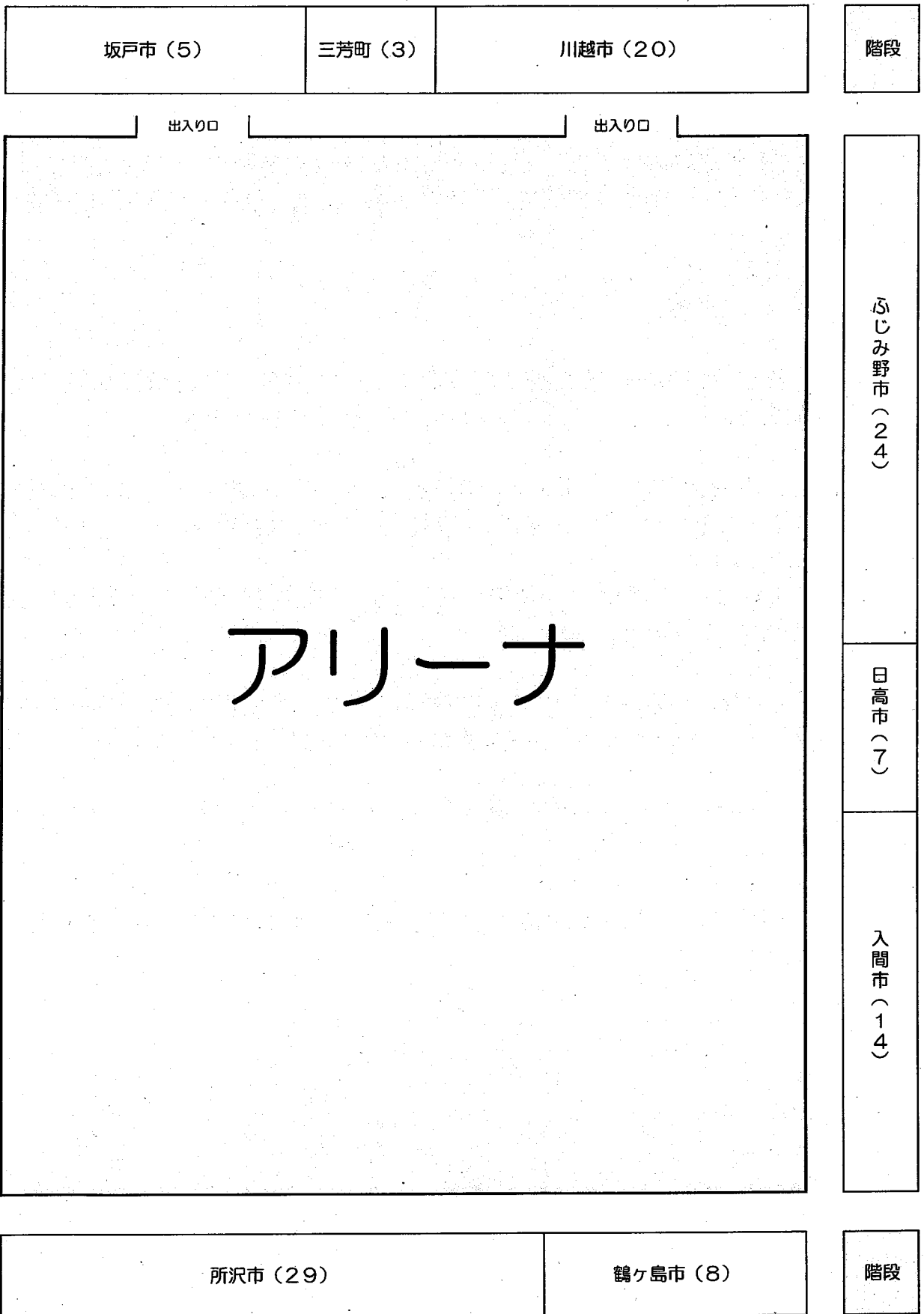
- ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールにめがけて、赤と青それぞれ6個のボールをいかに多く近づけるかを競う。ボールは転がしたり、投げたり、蹴ったり、「ランプ」と呼ばれる勾配具(スロープ)を使ったりして投球する。
- 選手が独自の力でボールを投球できない場合は、競技アシスタントが選手の指示を受けてランプを設置し、方向や角度を調整する。このアシスタントは、選手の指示に従うだけで、コートには背を向け、一切ボールの行方を見ることはできず、ボールの押し出しは選手が自分で行う。
- 「個人」「ペア」「チーム」の構成で試合を行い、お互い6個のボールを投げ終わるまでを1 エンドと呼び、「個人」「ペア」は4エンド、「チーム」は6エンドで競う。



諸注意

1. 荷物は市町村ごとに、2階ジョギングコースにあるイスおいてください。
アリーナには荷物を置かないようにお願いします。(席の位置は裏面を参照)
2. 昼食は2階ジョギングコースにあるイスにてお願いします。アリーナでの飲食はお控えください。
3. お弁当は市町村ごとに受付場所にて、まとめて配ります。代表者が受け取りに来てください。(人数が多い市町村は数名でお願いします)
4. お弁当の容器とペットボトルは回収します。お弁当配布時にお配りするビニール袋にまとめてロビーまで代表者が持ってきてください。
5. 役員の方は、弓道場に昼食を用意します。外通路は外履きになります。靴を履き替えて通路をお通りください。
6. 12時40分より、アリーナにて「レクリエーションボッチャ」のデモンストラーションを行います。2階席からご覧ください。
7. 武道館内、多目的室及び柔剣道場にて、ガラッキーとフロアカーリングの体験も行っておりますので、ぜひ体験してください。
8. 体育館内は禁煙となっております。喫煙は体育館外の駐輪場横にあります喫煙スペースにてお願いします。

ふじみ野市立スポーツセンター総合体育館 2階会場案内図



- (3) 川島町
- (10) 狭山市
- (2) 鳩山町
- (1) 嵐山町
- (9) 富士見市
- (3) 越生町
- (2) 東松山市
- (13) 飯能市

- ふじみ野市 (24)
- 日高市 (7)
- 入間市 (14)

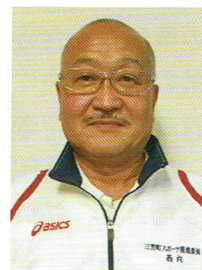
いるまスポ推会報

第 21 号

平成 31 年 1 月

発行／入間地区スポーツ推進委員連絡協議会 発行責任者

西 内 利 夫



あいさつ

入間地区スポーツ推進委員連絡協議会

会長 西 内 利 夫

こんにちは、日頃より入間地区スポーツ推進委員連絡協議会の活動にご理解とご協力いただき誠に有難うございます。

入間地区スポーツ推進委員連絡協議会の三事業も、担当地区の皆さんの協力で無事終わることができました。まずは、第二十五回研究大会が越生町で現在同町で進めているハイキングについて講義の後、皆さんで越生町をコースに分かれ実際にハイキングをしました。素晴らしい景色を眺めながらのウォーキング大変楽しかったです。

続いて交流大会が毛呂山町で行われました。ラケットテニスも各地域での普及活動の成果もあつて参加者の実力も数段レベルアップしています。今後の各地域での大会が期待され楽しみです。

十一月に女性委員会が所沢市で行われました。今回の研修は埼玉県埼玉葛地区で考案された新しいスポーツ「さいかつぼーる」を実技研修しました。おにぎりの形のボールで、戸惑いながらも楽しくプレーが出来ました。情報交換会では、所沢名物の焼団子を食べながら貴重な意見交換が出来ました。三事業に担当された各地区のスポーツ推進委員の方々、準備

企画運営に御協力頂き有難うございました。

さて、この度の当協議会は、埼玉県スポーツ推進委員協議会の一員として、二〇一九年六月七日～八日に行われる関東スポーツ推進委員研究大会（埼玉大会）の式典の部を担当します。関東地域に長野、山梨を加えた一都八県から約二〇〇〇名の人たちが集まる研究大会です。この大会を素晴らしい大会にするため、大会実行員会も会議・打ち合わせ等を積み重ねながら最後の調整をしています。委員の皆様には様々な御協力を頂くことになると思います。何卒御理解うえ、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、当協議会も各地域の資質の向上を図る為、県などの研修会の連絡調整から、地域の団結力を高める為に情報交換会並びに懇親会を開催することで、様々な情報をお伝えできるようにしていきたいと思っています。

皆様の今後のご健勝とご活躍を記念し挨拶といたします。

平成三十一年一月



第25回入間地区スポーツ推進委員研究大会

越生町スポーツ推進委員 岩鼻 昭夫

平成29年度、第25回入間地区スポーツ推進委員研究大会が、平成30年2月10日(土)に比企地区からの参加者を含め200名を超える多くの参加者をお迎えし、ここ越生町で開催されました。越生町は埼玉県のほぼ中央に位置し、首都50km圏にあります。約70%の山々に囲まれており、四季折々の自然に触れることができるとても美しい町です。

平成28年4月29日には全国初の「ハイキングのまち宣言」を行いました。研究大会が越生町開催となったとき、この自然を生かした研修、ハイキングをしていただくということで企画しました。「ハイキングの町・おごせを歩こう!」というテーマのもと、「たかとりコース」と「おっぺコース」の2つのコースを設け歩いていただきました。「たかとりコース」は、高低差が約300m、急登もありますが森林浴を存分に楽しめ、天気が良ければ大高取山頂から筑波山やスカイツリーも眺めることができるトータル約3時間40分のコースです。「おっぺコース」は、途中で越辺川沿いの遊歩道を歩く高低差も少ないトータル約3時間30分のゆったりとしたコースです。各コース共1グループ約20名ずつ5班に分かれ合計10班で歩きました。当日は天気が良くそれぞれのペース、それぞれの仲間、それぞれの想いを持って、ハイキングを満喫していただけたかと思います。「楽しかったよ」「越生らしくていいね」「案外きつかったけど良かったよ」と言っていた反面、至らない所が多々あったと思います。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

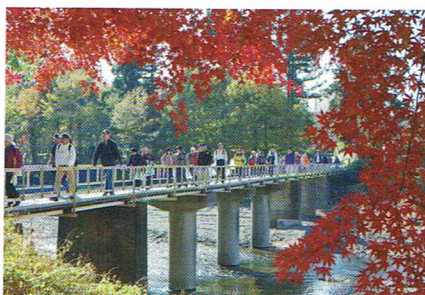
最後に、本大会に携わられた入間地区役員の皆様をはじめ、リーダー、サブリーダーとして参加者の安全誘導、コースの整備確認、特にコース内の残雪撤去等何かと御協力いただいた越生町体育協会トレーニング部の皆様、本当に有難うございました。この紙面をお借りし、多くの皆様に、心から厚く御礼申し上げます。

わがまち(入間)のスポ推活動

日高市スポーツ推進委員 町田 淳

日高市スポーツ推進委員連絡協議会は、市内各地区から選出された26名の委員が市民に向けて各種スポーツの普及活動に取り組んでいます。主な取り組みとして、四半的弓道、ラケットテニス、ペタンクの各大会を主催するとともに、市内で開催される福祉スポーツ大会、市民体育祭、市民まつり、日高かわせみの里ツーデーウォーク、かわせみマラソン大会、グランド・ゴルフ大会等の役員として年間を通して活動しています。このような活動の中で、ラケットテニスを広く普及させることを目指しスポーツ推進委員自らの指導力を高める実技研修に努めています。また、「ワンデー」から「ツーデー」へと発展し5回目を迎えたウォーキング大会では、県のウォーキング協会や飯能市のウォーキング倶楽部の指導、支援を得ながら大会運営を進めています。

今後も市民の健康増進や地域のコミュニケーションを深めることを目指し、委員一丸となって活動に取り組んでいきたいと考えています。



第26回入間地区生涯スポーツ交流大会ラケットテニス大会

毛呂山町スポーツ推進委員 弓田 貴之

平成30年9月8日(土)毛呂山町総合体育館にて、入間地区スポーツ推進委員連絡協議会主催のラケットテニス大会が、13市町から30チーム174名の参加で、各ブロック10チームの計3ブロックで競技を行いました。

当初は小さな町での開催で「コート数はいくつ設けられるのか」とか「スポーツ推進委員15名で設営・運営ができるのか」という色々な問題がありましたが、西内会長の「開催地の規模にあった大会を行って下さい」というアドバイスを頂き、なんとか昨年と同様のチーム数を確保することが出来ました。

そのため、メインアリーナに2ブロック、サブアリーナに1ブロックと会場を分け、サブアリーナにコート3面は少し狭くて選手の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、参加された皆様のご理解を頂き無事に競技が行われ、いろいろな面で参加された皆様方の交流が行われたと思います。あっという間の一日でしたが、大きな怪我や事故もなく皆様のご協力によりスムーズに大会運営が行われました。開催にあたりご尽力下さいました入間地区役員の皆様、参加された選手の皆様に感謝申し上げます。



おめでとうございます

文部科学大臣表彰

山田 上 (川越市) 宮寺敏雄 (所沢市)

全国スポーツ推進委員連合功労者表彰

武田和子 (鶴ヶ島市)

全国スポーツ推進委員連合三十年勤続表彰

当麻 浄 (所沢市)

関東スポーツ推進委員協議会功労賞

石堂悦子・佐藤光重 (川越市) 島村美恵子 (鶴ヶ島市)

埼玉県スポーツ推進委員協議会功労賞

小峯政美・楨嶋基文 (川越市) 西矢和夫・永野朋毅・武住真由美 (所沢市) 鈴木 榮・田中悦子 (富士見市) 横手三好・田川優子 (日高市) 伊藤利夫 (入間市) 滝村正雄 (坂戸市)

埼玉県スポーツ推進委員協議会二十年勤続表彰

木下常夫・斉藤幸雄・脇田 進 (所沢市) 岩井 保・中林誠一 (入間市) 町田 淳・松田一彦・小林 良 (日高市) 松本健治 (ふじみ野市)

入間地区スポーツ推進委員連絡協議会功労賞

藤田 優・田中 武・富田ちとせ・長谷川義仁・小暮則子 (入間市) 小鮎俊郎・滝村正雄 (坂戸市) 加藤 誠・茂木真澄 (飯能市) 澤田道春・大館昭彦・大河戸芳明・吉原 栄 (所沢市) 倉本はるみ・大川戸和茂 (日高市)

入間地区スポーツ推進委員連絡協議会感謝状贈呈者

須賀 憲 (川越市) 篠塚 功・藤澤洋子 (狭山市) 岩井 保 (入間市) 杉田博信 (坂戸市) 丹羽美好 (鶴ヶ島市) 青柳 高 (越生町) 大山隆幸・鎌田康男 (ふじみ野市) 金子 武 (三芳町)



敬称省略

女性委員研修会 (さいかつボール)

入間地区スポーツ推進委員連絡協議会女性委員会 委員長 中川 智香



平成30年11月24日(土)、寒さが感じられる中、所沢市民体育館のメインアリーナにて入間地区女性スポーツ推進委員研修会が開催されました。

今回は、82名が参加し、おにぎり型ボールを使用するバレーボールに似た種目である「さいかつぼーる」を行いました。研修では、所沢市スポーツ推進委員によるデモンストレーションで内容を確認した後に、各市町のスポーツ推進委員で5人ずつの合同チームを組み、5つのコートに分かれて実技を行いました。「さいかつぼーる」はバレーボールと異なり、相手チーム

からのサービス及び返球に対し、必ず自陣でワンバウンドさせてから打ちます。ボールの形が特徴的で、予測できない方向に弾んでいくため、処理に苦慮している場面が多く見られました。そんな中でも、好プレーが出ると互いに讃えあったり、得点が入ると5人で集まって手を合わせて喜ぶ場面も見られ、楽しい雰囲気の中、研修が進んでいきました。

一方で参加者それぞれが、自分の市町でもやってみたいと思い、質問も多く出ていました。実技研修終了後は、所沢市民体育館がスポーツ庁によるナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設の指定を受けていることから、パラリンピック競技であるゴールボール日本代表の練習を見学させていただきました。緊張感あるトレーニングが行われていて、貴重な経験となりました。研修後は、情報交換会を実施しました。各市町の状況や取組みなどに関する話をし、今後も、各市町と積極的に交流を深めるとともに、協力し合い、入間地区全域のスポーツ推進に努めて参りたいと考えております。

最後に、所沢市スポーツ推進委員の皆様、有意義な研修をありがとうございました。



編集後記

たくさんの方々に支えられながら、いるまスポ推会報第21号が発行できたことをとても嬉しく感謝しております。これからもご協力よろしくお願いします。

広報委員

宮寺 敏雄	新井 勝
押木 正己	田中 悦子
大熊 重敏	青木 幸彦